

続・町内の一枚の写真から

須恵尋常高等小学校の日々



▲写真1 野田先生と108の瞳



▲写真2 敬礼!



▲写真4 毛糸の編み物



▲写真5 電気分解の授業中

前回に引き続き、恵良弘明さん(甲植木)からお借りした写真を紹介します。今回は校内での子どもたちの姿を中心に取り上げました。写真1は大島原の須恵尋常高等小学校の校舎をバックに、低学年の子どもたちの集合写真。男の子(三〇人)はジャンブルジムに鈴なり。女の子(二四人)は先生を囲んで横に二段に並んでいます。3年生までは男女共学ではありませんが、入り交じることはありません。女の子の中央に居るのが野田先生(結婚後、春山姓)。写っているのは、昭和十年から十一年に生まれた子どもたちだということです。男の子の中でいちばん右端、上から二段目にいる子は右手を挙げて敬礼していました(写真2に拡大写真)。写真3と写真4はセットになっているもので、写真3には「六男」、写真4には「六女」と書かれています。六年生男子は土俵を前に、すももの選手六人を囲んだクラスメートのよう

です。楽しそうに大笑いをしています。六年生女子は下を向いて、黙々と毛糸を編んでいるところ。裁縫室でしょう。座卓には毛糸の玉が見えます。写真5は珍しい授業風景の写真。左側に男子、右側に女子。棚には剥製の鳥や薬品が並んでいます。理科室で電気分解の実験を見せられているところです。塩酸の電解、水の電解などと黒板に書かれています。写真6は胸に「SUEK O」と書いたユニホームを着た選手達。優勝旗と表彰状が二つずつあり、優勝旗には「少年野球大会優勝 主催糟屋郡教育会」と書かれ、下には「博多湾鉄道汽船株式会社」と見えます。スポンサーでしょう。博多湾鉄道汽船(現在の西

鉄宮地岳線・JR香椎線などを運行)は、昭和十七年に合併して現在の西日本鉄道になりました。賞状から第一回大会であることがわかります。写真7はササゲツ(捧げ銃)をする小学生の列。もちろん木製の模造品でしょうが、緊張がみなぎっています。小学校に配属された兵が手本を示すように剣を抜き、最前列の一人の小学生も同じしぐさをしています。号令をかけているところでしょう。実は二列ずつ三クラスが並んでいて、各クラスから一人ずつ前に出て指揮を取っているようです。昭和七年十月、原田尋常小学校(現・宇美町)の運動会の風景です。



◀写真3 土俵の前の豆力士



▼写真6 少年野球大会で優勝



▼写真7 ササゲツ(原田尋常小学校)